



特定非営利活動法人

## 神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 377

Dezember 2022

### NPO法人 神戸日独協会

〒651-0087

神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館19F

TEL/FAX 078-230-8150

郵便振替 01160-9-18199

E-mail: info@jdg-kobe.org URL <http://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE  
GESELLSCHAFT KOBE

International House Kobe 19F

Goko-Dori 8-1-6 Chuo-Ku

651-0087 KOBE/JAPAN

## ドイツ語講座・ドイツ文化教室2022年度第Ⅳ期開講

1月10日(火)からドイツ語講座・ドイツ文化教室の2022年度第Ⅳ期が開講します。

世界的にコロナ感染は終息していませんが、国際交流活動は、なお制限はあるものの、大分復活してきました。またコロナ禍によりオンライン活用の活発化などが見られるようになり、国際交流も多様化をしています。ドイツ及びドイツ語圏との多様な交流の基盤となるのはドイツ語です。この機会をドイツ語の学習はじめ、ブラッシュアップ、学び直しの好機ととらえませんか。

開講授業の詳細については、同封のパンフレットをご覧くださいか、協会事務局へお問い合わせください。

ドイツ語講座の多くのクラスは前期からの継続クラスですが、途中からの受講は可能です。

寒冷に加え感染が懸念される今年の冬は、駅からも近い教室でドイツ語講座・ドイツ文化教室に参加しませんか。ご参加をお待ちしています。

## 2023年関西地区日独協会合同新年会

既に前号にてご案内しましたように、2023年の関西地区日独協会の合同新年会を、1月7日(土)に開催します。合同新年会は、各日独協会の会員が新春に集まり新年を祝賀し、相互の懇親を深めるために毎年年頭に開かれているものです。

会員の皆様にはこの合同新年会に是非ともご参加いただき、新しき年のドイツとの交流についてご歓談していただきたく、あらためてご案内いたします。

日 時: 2023年1月7日(土) 18:00~20:00

(前号「これからの神戸日独協会の催し」にての17:30~19:30は誤りですので、お間違いのないように)

場 所: アサヒスーパードライ梅田ニッセイ(同和損保フェニックスタワーB1 TEL06-6311-2829)

会 費: 当日 各自実費清算

申 込: 参加の方は1月6日(金)までに事務局にご連絡ください(事務局閉室中はFAX、メールにて)。

## 主催行事報告

# ドイツ総領事講演会とクリスマス祝賀会

12月4日(日)に「ドイツ総領事講演会」と「クリスマス祝賀会」を神戸倶楽部にて開催しました。マルティン・エバーツ総領事は、Die deutsche „Energiewend“ und die Auswirkungen des russischen Angriffskrieges gegen die Ukraine (ドイツの「エネルギーシフト」とロシアのウクライナ侵略戦争の影響)との題目にて時宜に合った非常に興味深く有益なご講演をしていただきました。

クリスマス祝賀会は、コロナ感染予防を配慮してゆったりと円卓を囲み、これまでのヴェュフェ形式ではなくコース料理を楽しみながら、久しぶりの歓談をしました。参加者によるクリスマスソングの合唱、お楽しみ抽選会と恒例のプログラムが進むにつれ、コロナ禍による開催中断をも忘れるかのように、参加者間の親睦は深まりました。

感染予防のために参加定員を制限させていただきましたが、両会ともに定員一杯のご参加を得て盛況裏に開催できました。ありがとうございました。

## ドイツ総領事講演会とクリスマス祝賀会に参加して

会員 沼田 宏明

恒例のクリスマス祝賀会が神戸倶楽部において3年ぶりに開催されました。神戸日独協会が特別非営利活動(NPO)法人の認定を受けて20周年になりますので、その記念行事として、第一部はドイツ総領事による「ドイツ時局特別講演会」、第二部は「祝賀会」の二部構成でした。

### 第一部 ドイツ総領事による「ドイツ時局特別講演会」

大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事マルティン・エバーツ氏が「ロシアのウクライナ侵攻後のドイツにおけるエネルギー危機、諸物価の高騰とインフレ傾向の現状と政策」についてご講演をしてくださいました。エネルギーの対外依存度が非常に高い日本としては、昨今のエネルギー価格の上昇を考えると非常にタイムリーで興味深いトピックでした。

総領事がよく訊かれる4つの質問

Q1:ドイツ人はエネルギーシフトに何を求めているのか？それは機能しているのか？

Q2:(全廃を決めている)原子力はどうするのか？

Q3:ロシアへの天然ガスの依存をどうするのか？

Q4:エネルギーシフトは放棄せざるを得ないのか？

への回答という形式で、各論点につきエネルギー源別に、これまでの経緯と今後の展望についてご説明いただきました。国民生活に直結するエネルギー問題に正面から取り組むドイツの状況がよく理解できる内容だと感じました。

### 第二部 「祝賀会」

マルティン・エバーツ総領事ご夫妻にもご臨席していただき、コロナ禍で中断していた対面での懇談会を再開することができました。会長挨拶、エバーツ総領事の来賓挨拶、乾杯の音頭で懇談会

は始まりました。次郎丸理事のリードでクリスマスソングの合唱を行い、会員のご協力で集まったプレゼントのお楽しみ抽選会も盛り上がりました。最後に出席者全員で記念撮影を行いお開きとなりました。各テーブルでは会員・非会員を問わず会話に花が咲き、終始和やかな雰囲気です。3年ぶりの懇談会を皆さまが楽しめたのではないかと思います。会員各位のプレゼントのご協力に深謝いたします。

## 2022年クリスマス祝賀会に参加して

赤松 三輪子

12月4日(日)神戸日独協会クリスマス祝賀会が北野の神戸倶楽部にて開催されました。祝賀会前に行われた講演会でご登壇いただいた在大阪神戸ドイツ総領事マルティン・エバーツ氏も奥様と一緒に引き続きご出席され、会を盛り上げていただきました。柘田会長とエバーツ氏によるご挨拶は、話題はワールドカップの日独戦。ワールドカップの選手たちの活躍は、世界共通の話題となり、異文化交流の一助となりました。普段立ち入ることのない神戸倶楽部でのコース料理は美味で豪華、クリスマスソングの合唱は、次郎丸先生によるピアノ生演奏にのって、みなさんの美しい歌声が響き渡り、会場は和やかな雰囲気に包まれました。そして、抽選会では、有志の方によるお手製のリース、オーナメント等豪華なプロ級のクリスマスグッズが景品として並べられ、ぜひとも当たりたいという気持ちで、参加者の目が輝いていました！また、柘田会長夫人が絵付けをした可愛いクリスマスプレートは出席者全員にプレゼントされ、うれしいサプライズとなりました。最後は、全員で記念撮影をし、会はお開きとなりました。私は初参加となる祝賀会でしたが、場所柄とても格式がある一方、会員のみなさんのお人柄なのか、とても和やかな雰囲気で居心地よく過ごすことができました。いつもより少しおしゃれをして、格式ある場所でお料理を食べ、素敵な時間を一緒に過ごすのも良いものですね！最後に、少ない時間でこのような素晴らしい会をご準備いただきました事務局のみなさんに感謝申し上げます。ありがとうございました。

### 会員の広場

このコーナーは、会報を通して会員相互の交流をしていただくための「広場」です。今月のご投稿がありませんでしたので、休載します。ご投稿をお待ちしています。

(投稿規定: MSPゴシック12ポ、A4 1枚程度まで(多くの方に投稿していただくために、字数を厳守してください)、添付にて毎月第3水曜までに事務局へ)

## 第217回ドイツ語談話室

日時：2022年11月19日(土) 14:00～16:00

場所：神戸日独協会会議室

テーマ：人生を変えた本や事柄

今回の司会は川見正之氏が担当され、自身の体験から、父親の蔵書にあった外国の案内シリーズの内、ドイツ・スイス編を紹介された。敗戦後まだ外国の資料が少なかった時代に出会ったこの本から、海外、特にドイツやドイツ語に興味を強く持つきっかけとなった本である。

以下に、参加者のテーマに関する発言の一部を紹介する。

- 救急医である著者が書かれた、“人は死なない”を読み、自身の考えと良く一致した内容でありとても納得している。人の肉体は死を迎えて消滅するが、魂は死なない。
- 新しい物事に絶えず挑戦してゆくこと、に喜びを感じる。これまで仕事の上で、又趣味のコーラスグループで、絶えず新しい挑戦をしてきた。こうした挑戦が人生に喜びを与え続ける。
- アラスカのある寓話本に感動する。とある集落に2人の原住民である老人がいたが排除され、2人は厳しい自然の中で逞しく生きのびてゆく、というお話。
- 海外でオーペアをしたり好きなスポーツやったりする中で、一つ学んだことがある。それは、一つの事をよく考えてやり始めたら、途中で迷いを起こさずに完遂するまで続けること。
- ドイツに仕事で住んでいた折、ドイツ人の男女同権に対する強い意識を感じた。カップルに子供が生まれた時は、18歳になるまで扶養の義務を同等に負う。仮に離婚しても、子供が18歳になるまでは、2人に同等の扶養義務がある。
- ヘルマンヘッセの詩集を紹介する。ヘッセの生き方、魂の変遷にとっても感動を受ける。繰り返し読むに値する一冊。
- 第2次大戦後、中学生だった折、アメリカ文化センターの神戸支部が開設され、そこで英語を学んだ。親切な若い教師で良く家にも招待された。この事が外国語に興味を持つきっかけとなり、その後スイスの企業に定年まで勤めることになった。
- オーストリアで見つけた本で、Reisebereit für Japan? は、日本の事を外国の方に案内する上で、とても良く説明が出来ていて、大変役に立っている。

### 今後のドイツ語談話室の予定

第218回 2022年12月17日(土) 14:00～16:00 テーマ：お気に入りの食べ物

第219回 2023年1月21日(土) 14:00～16:00 テーマ：2023年(うさぎ年)への期待

## Protokoll der 217. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag, 19. November 2022, 14 bis 16 Uhr

Thema: Ein Buch oder sonst eine Sache, die mein Leben verändert hat.

Dieses Mal hatte Herr Masayuki Kawami die Gesprächsleitung und erzählte zuerst von eigenen Erfahrungen zum Thema. Sein Vater besaß eine Serie von Büchern über fremde

Länder und deren Sprachen. Kurz nach dem zweiten Weltkrieg konnte man in Japan noch nicht sehr viele von derart Büchern bekommen. Besonders interessierten ihn die Bände über Deutschland und die Schweiz. Diese wurden für ihn zum Anlass sich später mit Deutschland und der deutschen Sprache zu befassen.

Hier einige der Wortmeldungen:

- Eine Teilnehmerin fühlt sich sehr von dem Buch „Man stirbt nicht“ angesprochen. Es wurde von einem Arzt einer Unfallsstation verfasst und vertritt die Ansicht, dass der Körper zwar vergeht, der Geist aber bleibt.

-Eine Teilnehmerin findet große Freude daran, immer wieder neue Dinge auszuprobieren und sich stets neuen Herausforderungen zu stellen. Dies hat sie auch bei ihrer Arbeit sowie in ihrer Hobby-Chorgruppe getan. Neue Herausforderungen geben ihr Freude am Leben, sagt sie.

-Eine Teilnehmerin berichtete, dass sie tief von einer Sage aus Alaska beeindruckt war. Die Geschichte handelt von zwei alten Menschen, die aus ihrer Dorfgemeinschaft ausgeschlossen wurden, und von der rauen Natur bedroht überleben müssen.

-Eine andere Teilnehmerin berichtete, dass sie bei ihrer Arbeit als Au-pair sowie auch beim Sport gelernt hat, Dinge gut überlegt anzugehen, und so, ohne abzuweichen, bis zum Ende durchzuführen.

-Ein Teilnehmer, der aus beruflichen Gründen Zeit in Deutschland verbrachte, erfuhr dort, wie sich die Leute für die Gleichberechtigung der Geschlechter einsetzen, und dass Paare mit Kindern gleichermaßen verpflichtet sind, für den Unterhalt dieser zu sorgen, bis diese großjährig sind. Dies gilt auch für den Fall einer Scheidung.

-Eine Teilnehmerin stellte einen Gedichtband von Herman Hesse vor. Sie ist von Hesses Lebensart, seinem Lebens- und Geisteswandel begeistert und findet das Buch immer wieder erneut lesenswert.

- Nach dem Zweiten Weltkrieg wurde in Kobe eine Zweigstelle des amerikanischen Kulturzentrums eröffnet. Einer der Teilnehmer, er war damals Mittelschüler, konnte dort Englisch lernen und wurde von einem freundlichen jungen Lehrer öfter in dessen Haus eingeladen. So wurde sein Interesse an Fremdsprachen geweckt. Später fand er Arbeit bei einem Unternehmen aus der Schweiz, wo er bis zu seiner Pensionierung blieb.

-Eine Teilnehmerin kaufte in Österreich ein Buch mit dem Titel, „Reisebereit für Japan?“. In diesem Buch wird Japan sehr gut und genau erklärt. Das ist sehr hilfreich, wenn man Ausländer in Japan herumführt.

### **Nächste Treffen:**

Samstag, 17. Dezember 2022, 14 bis 16 Uhr. Thema: Meine Lieblingsspeise.

Samstag, 21. Januar 2023, 14 bis 16 Uhr. Thema: Meine Hoffnungen für 2023, das „Jahr des Hasen“.

## Stammtisch mit Zoom

### 2023年1月の Stammtisch mit Zoom

日 時： 1月21日(土)10:00～11:00

話題提供： 神戸日独協会会員 原田 耕作氏 「滞在型旅行の勧め」

紹 介： スイス企業の神戸事務所と東京事務所で40年近く勤務し、スイス人をはじめ世界各国の同僚たちと各地で交流し、毎年夏のバカンスを2～4週間、主にヨーロッパで10カ国20カ所の街や村で過ごしました。  
そんな滞在型バカンスについてお話いただきます。

### 2月の Stammtisch mit Zoom

日 時： 2月18日(土)10:00～11:00

話題提供： 公益財団法人兵庫県国際交流協会事業推進部次長兼交流・協力課長永田 展之氏  
「ブラジルのドイツ人コミュニティ」

紹 介： 兵庫県ブラジル事務所長として2017年から2022年までパラナ州クリチバ市で駐在。南米全域を活動範囲とし、主にブラジルでは県産品の販路拡大をはじめ進出企業や姉妹都市、農業などの交流サポートを実施。この間に見てきたブラジルでのドイツ系社会の様子やドイツ文化の広がり状況、ドイツ系と日系人ご夫妻がゼロから取り組まれたビール醸造などについてご紹介していただきます。

(理事 押尾 愛子)

### 神戸日独協会 Stammtisch mit ZOOM

<https://us02web.zoom.us/j/85366355191?pwd=N05kST11b1VhYkNqc2kvQmd5VjlpQT09>

ミーティングID： 853 6635 5191 パスコード： 393924

## Stammtisch mit Wein

### 1月のStammtisch mit Wein

日 時： 2023年1月21日(土)17:30～19:30

場 所： 神戸日独協会会議室

話 題： 今年のドイツ交流への抱負

出席いただける方は、事務局へ電話・メールにてご連絡ください。当日参加も可。

### 1月の月例懇談会開催のお知らせ

月例会は11月より「月例懇談会」として開催しています。この会は協会と会員間の交流のための懇談会です。是非とも参加し、協会の運営や企画などにご意見を下さい。

日 時： 2023年1月21日(土)16:10～17:15

場 所： 神戸日独協会会議室

話 題： 協会事務所の移転と移転後の事務所の形態について。

大事なテーマですので是非ともご意見をお願いします」。

ご出席いただける方は、事務局へ電話・メールにてご連絡ください。当日参加も可。

## 事務局からのお知らせ

### 年末・年始の閉室

12月28日(水)から1月5日(木)まで閉室します。

※閉室期間中、催し等のお申込み・お問合せはFAX・メールでお願いいたします。

Das Büro der JDG Kobe ist von 28. Dezember bis zum 5. Januar geschlossen.

### 会報印刷・発送ボランティア募集

9月より会報の印刷・発行日を毎月第4月曜日に変更しています。掲載記事は毎月第3水曜日までをお願いします。

会報の印刷と発送を手伝ってくださる方を募集しております。是非ともお手伝いをお願いします。

次回の印刷と発送は1月23日(月)を予定しています。お手伝いいただける方は事前に電話かメールでご連絡ください。

印刷： 兵庫県国際交流協会作業室(神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1

国際健康開発センター2階、県立美術館西隣)にて、10:30より1時間半程度

発送： 神戸日独協会にて、12:00～

☆ 今月号は年末を考慮し一週間早めて12月19日(月)の発行としました。

## これからの神戸日独協会の催し

日時	催し	会場	申込〆切 など
1月7日(土) 18:00~20:00	2023年関西地区日独協会 合同新年会	アサヒスーパードライ 梅田	1月6日(金)
1月21日(土) 10:00~11:00	Stammtisch mit Zoom	神戸日独協会会議室	当日参加可
1月21日(土) 14:00~16:00	ドイツ語談話室	神戸日独協会会議室	当日参加可
1月21日(土) 16:10~17:15	月例懇談会	神戸日独協会会議室	当日参加可
1月21日(土) 17:30~19:30	Stammtisch mit Wein	神戸日独協会会議室	当日参加可